

2022年度 事業計画



Ver1.1

2022年6月

一般社団法人iCD協会

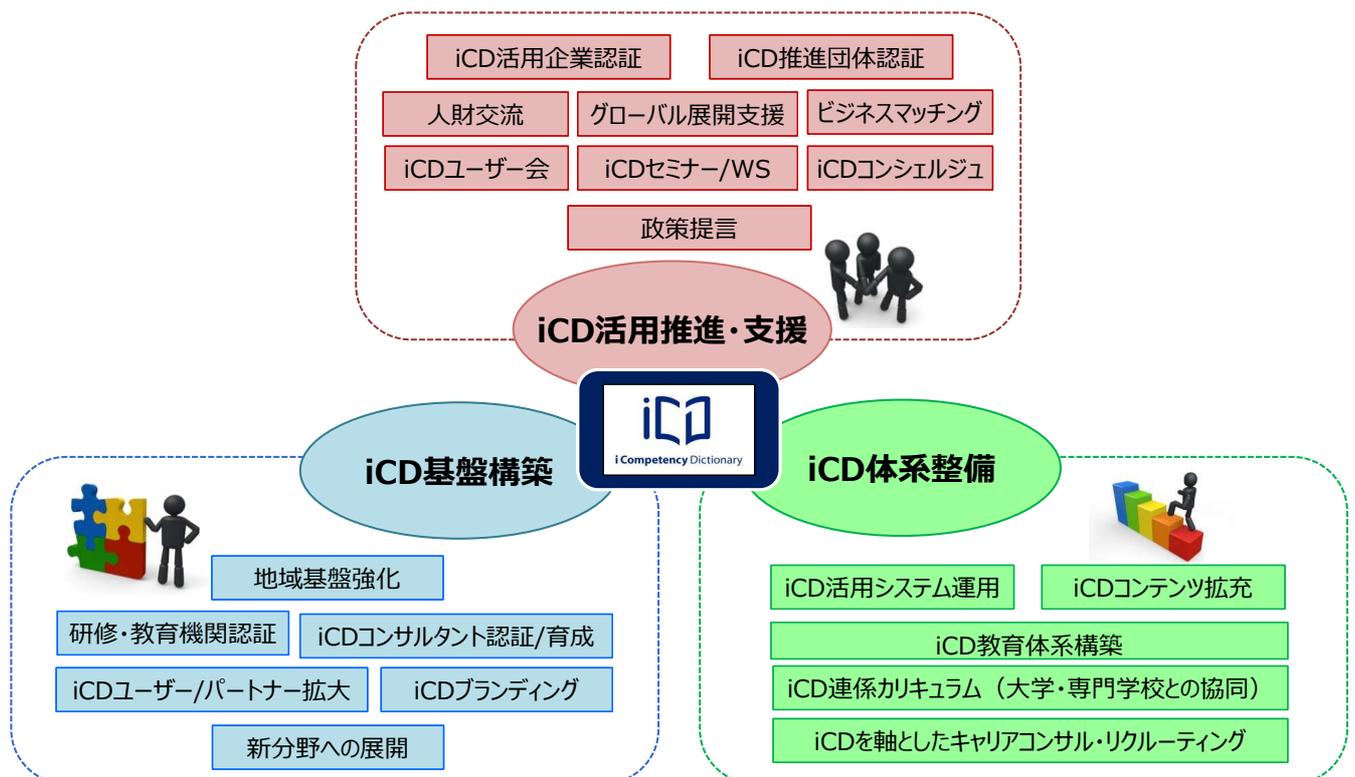
Copyright 2022© All rights reserved, iCD Association

1

事業ビジョン



iCDの力で会社を、人を元気にする



Copyright 2022© All rights reserved, iCD Association

2

デジタルトランスフォーメーション時代到来に向け、
iCD とそのコンセプトを武器として地域を含めた
日本の企業（ IT企業、ユーザー企業 ）における
経営改革を支援する。

活動方針

1.iCDの認知度を上げ、企業による実際の活用の機会をつくる

ユーザー会や説明会等により国内でのiCD認知度の向上を図るとともに、iCD活用ワークショップ等の実活用の機会を提供して幅広いiCDのファン作りを行う。

2.「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCD活用企業の拡大を図る

iCDを活用している企業の事例収集と他企業への紹介を目的として「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCDを活用する企業の一層の拡大を図る。

3.iCDを活用している企業の発展を支援する

iCDを活用している企業同士の情報交換を実施し、活用コンサルティング等のサポートを実施する。また、企業同士の人材交流やビジネスマッチングを図り、活用企業の発展を支援する。

4.iCDコンテンツの内容を更新する

企業活動の業務（仕事）を整理したタスクディクショナリと、タスクを遂行するために必要な能力を整理したスキルディクショナリにつき、内外の環境の変化やユーザーニーズに応じて逐次ブラッシュアップし、グローバル標準として高度な内容を維持する。

5. iCDシステムの活用を推進する

協会が認定した「iCD活用システム」につき、広くiCD活用企業への紹介に努め、各企業がスムーズに運営できるような推進を行う。

6. iCDを活用した教育体系を確立する

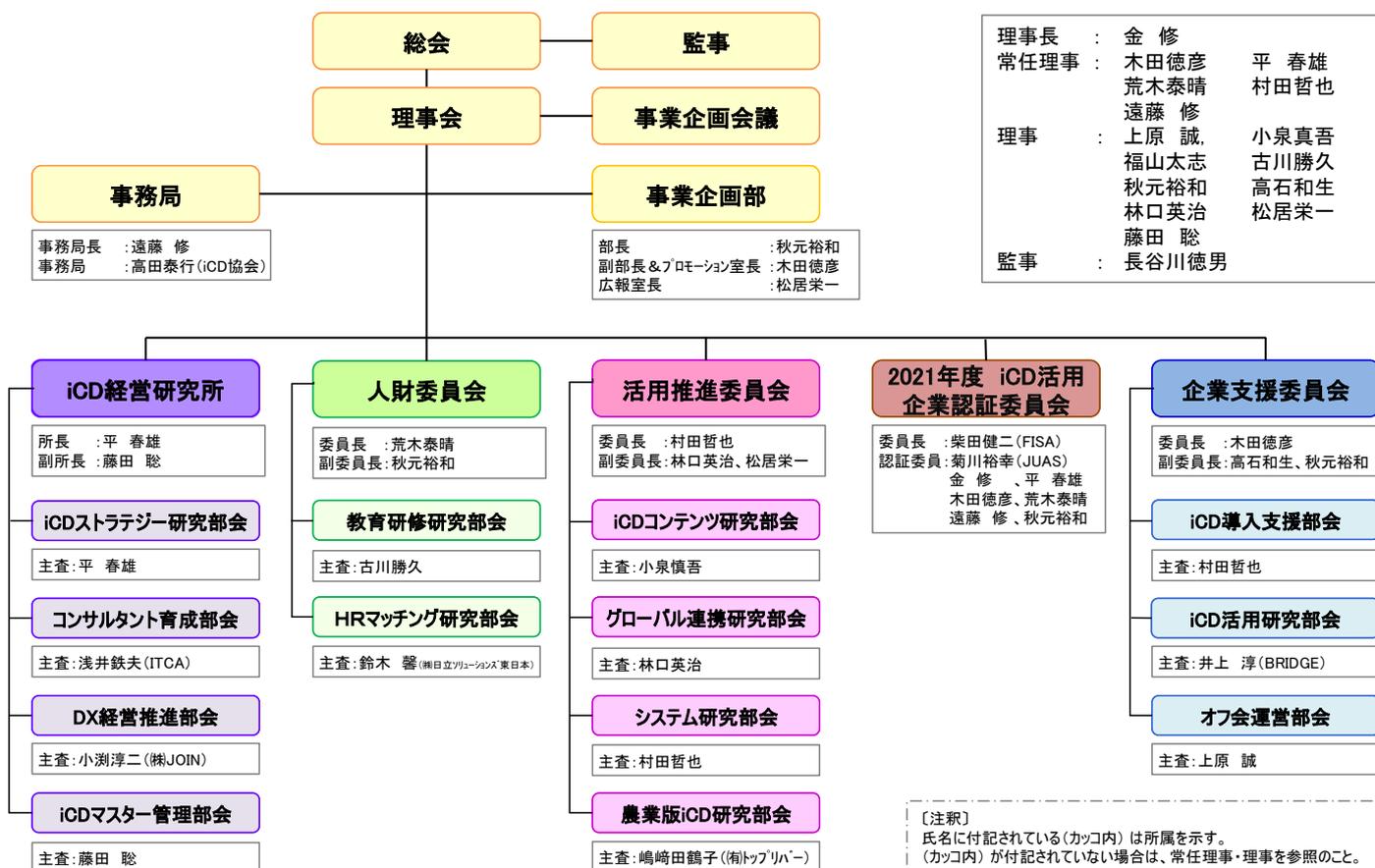
学校関係および教育事業者等と協力し、iCDを活用した人材育成施策を実行する体制を確立する。また、それらの機関をiCDエデュケーターとして認証し、カリキュラムや研修手法を研究する。

7. iCDの海外展開を促進する

海外のスキル標準と密に連携し、iCDのプレゼンスを高めるような活動を行うほか、連携の結果をiCD活用企業に展開し、企業のグローバル化のサポートを行う。

2022年度 事業計画

1. 組織体制



Copyright 2022© All rights reserved, iCD Association

2. 重点施策 (事業企画部)

(1) iCDタスクの拡充と、その活用分野・組織の拡大

- ◆事業内容 iCDのタスクを拡充するとともに、多岐に渡る iCD 活用を促し、その支援サービスの充実を図る。
〈提供タスク〉 AI、営業拡充、農業、経営、アジャイル(予定)、第三者検証(予定) 等
- ◆利用者想定 経営(事業)・組織(制度)・個人(育成)等の各種施策を推進する皆様。

(2) iCDタスクにて構成された新フレームワーク「Wings」の普及と展開

- ◆事業内容 ITSSの形式を踏襲しながらも、グローバル標準「SFIA」とコラボレーションして iCDタスクにより定義されたフレームワーク「Wings」を提供する。
〈提供は3種〉 ① Wings I -a ② Wings I -b ③ Wings II
- ◆利用者想定 ITSSを基軸とした人材像を指標としながらも、最新技術動向を反映したグローバルな視点での指標活用を目指す皆様。

(3) DX経営を目指したジョブ型マネジメントの実践

- ◆事業内容 「ジョブ」を「事業(ビジネス)価値」に着目した概念と位置付け、恒常的な変革を促す。さらに、目的が定まったジョブを iCDタスクで可視化し共有することにより、変革の実現を支援する。
〈提供ツール〉 ジョブ型マネジメントを支援する知識体系 JMBOK (Job-based management Body of Knowledge)
- ◆利用者想定 自組織の良さを活かした事業展開を目指す皆様。社員一人ひとりが持つ「自分の物語」を取り込み、社員の力を最大限に活かした事業展開を目指す皆様。

Copyright 2022© All rights reserved, iCD Association

3. iCD経営研究所

(1) 書籍「iCDを用いた働き方改革シリーズ」の企画と普及〔iCDストラテジー研究会〕

- ◆事業内容 制度のみに焦点を当てた取組みによる失敗例を参考にしながら、経営の目指すべき姿とそれに呼応した施策の実現を目指して、人的資本経営に軸足を置いた検討・執筆を計画する。
- ◆利用者想定 「人を中心に据えた経営の在り方」をはじめとした改革推進に関心ある皆様。

(2) iCDコンサルタント・アドバイザの認証と活躍の場の醸成〔コンサルタント育成部会〕

- ◆事業内容 「アドバイザ認証のためのセミナー開催」に加え、新たに「アドバイザ認証の更新運用」「コンサルタント認証の運用」を開始する。
- ◆利用者想定 iCDの活用を前提に、DX等の経営・人材育成戦略の立案・実行を目指す個人の皆様。

(3) DXによる経営変革の実現にむけたコンサルティングサービスの提供〔DX経営推進部会〕

- ◆事業内容 ジョブ型マネジメント知識体系(JMBOK)の提供を軸に、DXによる経営改革を支援するコンサルティングサービスの企画・設計・提供を担う。
- ◆利用者想定 DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)の皆様。

(4) iCDタスクの拡充を前提とした体系整備とマスター管理〔iCDマスター管理部会〕

- ◆事業内容 iCD協会活動において作成(追加・変更を含む)されたタスクを整備し、タスク体系に組み込みマスター管理するとともに、その普及を支援する。
- ◆利用者想定 iCDを活用されるすべての皆様 (特に、iCDの最新動向に関心ある皆様)。

4. 人財委員会

(1) 研修事業者の情報共有の場の円滑運営と事業水準の向上〔教育研修研究部会〕

- ◆事業内容 IT関連の特定研修事業者が参集し、ビジネス課題やその対処法等を共有、ならびに事業水準の向上を図る。研修利用者に向けては、DX等のホットな話題を対象に、研修事業者各社の取り組みや得意分野等を紹介する。

《分科会》 研修事業営業分化会

教育研修研究部会に所属する研修事業者の営業部門担当者により、各社のオープンコースの検索・申込を共通化するなど、ビジネス基盤の整備等による研修利用者の利便性向上を図る。

- ◆利用者想定 研修事業者の動向把握や、各社の研修の比較/選択を検討されている皆様。

(2) iCD活用による人材派遣・調達精度向上と効率化〔HRマッチング研究部会〕

- ◆事業内容 人材派遣・調達のマッチング精度の向上を目的に、iCDを尺度としたガイドラインを提供する。そのうえで、取引の多重構造の解消に努める。

〈利用ツール〉 リソース管理システム(株式会社 日立ソリューションズ東日本)

EiDB(株式会社エンテックス)

- ◆利用者想定 【メンバー募集中】 人的資源のアピールと、その調達・雇用を事業としている皆様。

5. 活用推進委員会

(1) iCD活用企業のニーズに基づくコンテンツ拡充〔iCDコンテンツ研究部会〕

- ◆事業内容 既存公表済みの「AIタスク」について、ブラッシュアップ・タスクプロフィール整備を図るとともに、iCDコンテンツ拡充に関する会員企業のニーズ等を調査・検討する。
- ◆利用者想定 【メンバー募集中】AI導入とそのタスク定義、または新たな iCDコンテンツ整備に関心ある皆様。

(2) iCDのグローバルな活用を目指したコンテンツと環境の整備〔グローバル連携研究部会〕

- ◆事業内容 グローバル標準「SFIA」および海外組織とのさらなる連携を促進する。さらに、英語版iCDの整備・拡充に関するニーズを調査し、iCDの英語版充実の方向性を検討する。
- ◆利用者想定 グローバルな視点でのスキル指標やその動向等に関心ある皆様。

(3) iCDを採用したシステム・サービスの活用促進〔システム研究部会〕

- ◆事業内容 サービス提供事業者が参集し、iCDに関する情報共有・交換をとおして、事業水準の向上を図る。サービス利用者に対しては、事業者各社の取り組みや特長を紹介する。
- ◆利用者想定 iCD準拠システム等を提供する事業者のサービス内容の比較や採用を検討されている皆様。

(4) 農業人材の成長を見える化する農業版 iCDの普及展開〔農業版iCD研究部会〕

- ◆事業内容 既存公開済みの「農業版iCD」の有効性を検証するとともに、スマートファーマー育成にむけた活動の相互研鑽や、教育体系の充実を図る。
- ◆利用者想定 農業界での人材育成等での iCD活用、さらには他業態への展開等に関心ある皆様。

6. iCD活用企業認証委員会

(1) iCD活用企業認証制度の運用〔iCD活用企業認証委員会〕

- ◆事業内容 各企業の iCDの活用状況や成果の創出状況を確認して、そのレベル(6段階)に応じた認証を実施する。その結果と、認定企業各社の取り組みの詳細を公表することで、iCDの有効性を確認し、さらに普及促進を図るための活動を強化する。
《注》 2022年度の認証に向けては、認証基準の適正化、申請方法の簡易化、応募における満足度向上等を目的とした改正を実施する。その概要は初秋頃に公開予定。
- ◆利用者想定 iCD活用について、他社の状況を確認するとともに、自社の状況を公開し関係者と共有することで、さらなる iCD活用成果向上を目指す皆様。

7. 企業支援委員会

(1) 初めて iCDを導入する企業の支援 [iCD導入支援部会]

- ◆事業内容 iCDの周知・紹介・普及活動を目的として、以下のようなイベント等について企画し実施する。
①iCD導入セミナー ②iCD協会主催/iCDカレッジ「人財育成&業務改善・実践コース」
- ◆利用者想定 iCDの概要や導入にむけたノウハウを把握したい皆様。

(2) 既に iCDを導入している企業の支援 [iCD活用研究部会]

- ◆事業内容 iCD運用上の課題や活用事例を共有する目的で、以下のような活動の企画・実施・報告を担う。
①iCDユーザー会 ②iCD協会会員を対象とした会員交流会 ③ワーキングの設置
- ◆利用者想定 iCD活用実績のある企業(原則、Silver認証相当以上)を対象とした情報交流等とおして、自社の改善・改革の方向性や iCD活用の有益性の向上を目指す皆様。

(3) 既に iCDを活用している企業同士の自主的な会合の支援 [オフ会運営部会]

- ◆事業内容 たとえ少人数でも活発な討議が期待される多彩なテーマをもとに、iCD協会会員同士の交流を図る活動を企画し運営する。
- ◆利用者想定 iCD協会会員を対象とした 自主的発言を主とした参加型の情報交流をおして、自社の改善・改革の方向性や iCD活用の有益性の向上を目指す皆様。

2022年度における新たな試み

① 【新規イベントの開催】協会活動の広報範囲の拡大を目指して

- ◆目的 iCD協会の活動は、協会関係者をはじめ 過去のセミナー参加者等の約1千先に広報している。この拡大を目的としたイベントを企画し、開催する。
- ◆具体的な施策 ホットな話題と、業界有識者のご登壇による、新たなカンファレンスを今年度に開催する。

② 【新サービスの提供】iCD診断データによるフレームワーク分析

- ◆目的 iCD活用企業には、従業員の iCD診断データを各社の役割にマッピングし、利用頂いている。これを Wings等のフレームワークにマッピングし、業界動向や他社平均等との比較を可能とする。
- ◆具体的な施策 同意頂いた企業のiCD診断データを利用して、個社分析/動向分析サービスを提供する。

③ 【認証の仕組み改善】iCD活用企業認証における継続性の考慮

- ◆目的 iCD活用企業認証にむけた「活用カルテ」提出にて、例え前年との進展がない場合でも、iCDを継続して活用していることを示せば、認証レベルを維持またはアップできる仕組みとする。
- ◆具体的な施策 iCDの継続した活用を示す方法として、今年度は「iCD診断データの提示」を対象とする。さらに「Wingsベースでの個社分析/動向分析(上述②参照)」サービスも付加提供する。

End of File